From: 教育学研究科教職教務掛 <020kyokyo2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp>

Date: 2020 年 11 月 6 日(金) 9:07

Subject: 【京都大学】対面授業の希望調査（第3次）の結果につきまして

後期授業ご担当者 各位

大変お世話になっております。

京都大学教育学研究科教職教務掛です。

先日申請していただきました、対面授業の希望調査（第3次）につきまして、教育学部・教育学研究科の新型コロナウイルス対応WGでの協議結果を添付ファイルのとおり、お知らせいたします。

◆対面授業実施にあたっての注意事項◆

(以下略)

講義コード	科目名	担当教員名	授業形態	開講期	曜時限	例年の受講人数(わかる場合はご記入ください)	教室	教室収容人数	対面の授業回数	オンキャンパスでの開講を希望される理由(例:より質の高い学習機会を確保するため)	感染防止の対策(「対面授業実施に当たっての確認事項」以外に対策を施すご予定がある場合は具体的にご記入ください。)	TA・OAの希望	対面授業の可否
5020000 (同一授業:6007000)	教育情報学 (同一授業:教育情報学特論)	久富 望	講義	後期	木3	8	3演	24	1回	ゲストスピーカー側の希望	ハイブリッド	希望する	可
9181001	国語科教育法II	広滝 道代	講義	通年	木3	15	一講	72	3回	本科目の目的の一つである具体的な実践能力の育成を図る模擬授業のまともとして、対面によるより質の高い学習機会を確保するため。	学生一人一人へ確実に情報を伝達する手段や、学生からの相談に速やかにきめ細かに応じる体制を確保してまいります。	希望する	可
6235000	比較教育学特論III	大野 裕己	特論	後期	金2	3	1演	18	2回(1月実施分)予定	受講者報告を中心とする講義の最終部について、より質の高い学習機会を確保するため			可
9272002	教育相談(教育・学校心理学)	上田 勝久	講義	後期	金1	128	学術情報メディアセンター南館 地下講義室	248	残りすべて(およそ9回)	学生の要望につきより質の高い学習機会を確保するため	ハイブリッド(ハイフレックス)型	希望しない	可(ただし、登校者を教室定員の50%以下とすること)
3041000	社会教育経営論II	田所 祐史	講義	講義	木2	3	一講	3	履修者と相談の上回数程度	より質の高い学習機会を確保するため	特になし(受講者3名と相談の上でオンラインの回もあり)		可